

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>秘書事務事業</b>			予算額	<b>26,156</b>	
局/部/課	市長公室/秘書課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.	75	2款 総務費	1項 総務管理費	1目 一般管理費	要求	35,264
<事業の目的・内容> 市長・副市長の日程の調整を中心とした秘書業務を行います。 市政の振興発展に尽力され、功績のあった方々を称え顕彰します。 芸術又はスポーツの分野において、顕著な功績のあった方々を表彰します。				財政局長	35,264	
				市長	35,264	
				査定区分	A	
				前年度予算額	37,171	
				増減	△ 11,015	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>広報事業</b>			予算額	<b>222,554</b>	
局/部/課	市長公室/広報課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.	79	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 広報広聴費	要求	223,224
<事業の目的・内容> 広報紙「市報さいたま」、公式ホームページ、テレビ広報番組をはじめとした様々な広報媒体や手法を活用し、市民が必要とする情報を迅速かつ正確に発信します。また、「さいたま市PRマスタープラン」に基づき、戦略的な広報活動を行い、施策や事業に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得るとともに、都市イメージの形成と確立に取り組みます。				財政局長	221,051	
				市長	223,051	
				査定区分	B	
				前年度予算額	229,287	
				増減	△ 6,733	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	<b>NHK大型公開番組等開催事業</b>			予算額	<b>2,680</b>	
局/部/課	市長公室/広報課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.	79	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 広報広聴費	要求	2,680
<事業の目的・内容> 地域の文化振興と市民福祉の向上を図るとともに、市内外に向けて本市をアピールするため、NHKさいたま放送局及び埼玉県産業文化センターとの共催により、大型公開番組や学校音楽コンクールを開催します。				財政局長	2,680	
				市長	2,680	
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,420	
				増減	1,260	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>広聴事業</b>			予算額	<b>33,433</b>	
局/部/課	市長公室/広聴課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.	79	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 広報広聴費	要求	40,240
<事業の目的・内容> 広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進するために、市長への提案制度、タウンミーティング、市民意識調査などの広聴事業を行います。 また、寄せられた市民の声を集約し、市政に反映する仕組みを整備します。				財政局長	35,671	
				市長	35,671	
				査定区分	B	
				前年度予算額	61,061	
				増減	△ 27,628	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	パブリックコメント事業			予算額	262	
局/部/課	市長公室/広聴課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 79	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 広報広聴費	要求	262	
<事業の目的・内容> パブリック・コメント制度要綱の適正な運用を図るため、実施機関の一連の手続に対する進行管理とパブリック・コメント委員会を開催するなどの支援を行います。				財政局長	262	
				市長		262
				査定区分	A	
				前年度予算額	262	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	コールセンター運営事業			予算額	104,090	
局/部/課	市長公室/広聴課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 79	2款 総務費	1項 総務管理費	6目 広報広聴費	要求	104,090	
<事業の目的・内容> 本庁及び区代表電話を含めた市民からの問合せ等に対して1つの窓口で迅速かつ責任ある対応を行うとともに、市政への要望等を的確に把握し、市民サービスの向上を図ることを目的としたコールセンターを運営します。				財政局長	104,090	
				市長		104,090
				査定区分	A	
				前年度予算額	36,839	
				増減	67,251	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。